

平成9年度 和歌山県文化功労賞

た なか しげ お
田 中 重 雄

住 所：和歌山県有田郡広川町

出 身 地：和歌山県有田郡広川町

生 年：大正元年

◎業績及び経歴

氏は、幼少の頃より、生まれ育った有田地方に多数存在する各種の史跡や、古くから伝わる仏像などの美術工芸品に親しむとともに、その成り立ちやいわれについて独自の視点をもって調査研究を行ってきた。

戦後、農林水産省和歌山食糧事務所において勤務する傍ら、その研究にける志は変わらず、地域において各種文化財について調査研究するとともに、その保存や伝承に尽力してきた。

この様な活動の中で、同好の志と文化財の研究や保護ならびに文化財に関する認識や啓蒙を行うことによって、県民文化の向上に寄与することを目的とした社団法人和歌山県文化財研究会において昭和44年の設立時から参画し、以来、理事として今日に至るまで献身的な尽力により、その活動を支えてきた。

氏は、郷土史の調査研究によって蓄積された膨大な資料や、これに支えられた豊富な知識によって、昭和41年より広川町誌編集委員会委員長や吉備町誌編纂委員会委員を務め、郷土の歴史を後世に伝えるために筆をふるうなど、多大の貢献をした。

また、和歌山県における文化財の保護と活用を図るため、昭和40年より和歌山県文化財専門審議会委員や広川町文化財保護審議会委員長を歴任するとともに、平成4年より有田地方文化財保護審議会連絡協議会委員を務め、文化財の保護にも尽力した。

地方史研究や文化財保護をとおした、氏の地域

文化に対する貢献は多大である。

■現在

社団法人和歌山県文化財研究会理事

広川町文化財保護審議会委員長

■主な表彰歴等

平成7年 社団法人和歌山県文化財研究会
感謝状